

夏祭り、幼馴染、背中の湿もり

2021/07

同人音楽サークル『ウラオモテ』

夏のある日。グラウンドで開かれる夏祭り。

雜踏。響く花火の音。鈴虫の鳴き声。

夏祭りの会場から帰路につく一人。

主人公、幼馴染をおんぶしてゆっくりと歩く。

【顔の向きは前方、マイクと同じ向きです。お好みで主人公の顔を見たり、背いたりしてください。絶対顔を見てほしいところは指示を入れて下さい】

◆右耳/10cm おんぶの距離感》

「……（しじせし呼吸）…………はあ、ふう…………」

「「めんねー、」んなことになっちゃって」

「じやあ、張り切りすぎちゃいましたあー。あはは。ゲタなんて履かないからねえ」

「（一呼吸）」

慣れてないのになんで履いてきたの。

「んー？ そりやあゲタは履かなきやあ。せつかく浴衣なんだし」

「そーそー、浴衣ー。」れ用意すんの大変だつたんだよー?」

「誘つてきたの昨日じやんー。昨日ー。いきなり過めいしょ」

「急いで借りてやつたー」

幼馴染8

幼馴染7

幼馴染6

幼馴染5

幼馴染4

幼馴染3

幼馴染2

幼馴染1

幼馴染0

幼馴染9

「さやれ、お祭りでフシーの服は無こじでしょ」
(せやれ)

幼馴染10

「特ニ、今田さや……せあ」

幼馴染11

「なのこやあへ、なんで君はフシーの服なんだよおへ。
アタシが済こしてんやん」

幼馴染12

「浴衣で来ゆと懇ねなかつたー? 懇ねるー。」

幼馴染13

「おつかなみやハコハビ」おぬよねバ」

ちやうじふ機嫌。わざわざくへ。

幼馴染14
「おー、ははは。女匂せいかじすこおせんー。転ん
で呟ひねつたアタシが懇かつたですわ。むー」

幼馴染15

「ふくへ」

「せーし呼へ。

幼馴染16
「せあ……ふく……。(せーし呼吸) ……」

分かれ道に迷し掛かる。

幼馴染17

「あい……ねバ」

「裏道通るのよ。近道だー」

幼馴染18

「うそ。そーね」

幼馴染19

「まつすぐだよ、人多こじやん。クラスの誰かに見
つかるのヤだー」

幼馴染20

幼馴染21 「んーんー。 蕾咲が女や侶ひしるーとか、すーぐ曰ま
るか、いねー」

(「心確認する感じ。お互い意識せしむる。
『ねべー』で主人公の顔を見る)

幼馴染22 「…………別に、女や侶ひしるーの、ねべー。」

(顔をそむかす。ややせつねお互い意識している)

幼馴染23 「…………（一ぜし呼吸）…………」

幼馴染24 「えー、ハ、ハ。 裹道ね。 いじらー」

#主人公 裹道に進む。

幼馴染25 「ん…………はあ…………（一ぜし呼吸）…………」

(前方のころんなど)を覗く

幼馴染26 「ああ…………（一ぜし呼吸）…………えー…………懲かしい」

幼馴染27 「一縷ひと縷の久しづらだよなー」

(『小学生ぶつー』でちょいと主人公を覗く)

幼馴染28 「あー、小学生ぶつー。」

幼馴染29 「へへ、あの壁はー、なんだろ……肝試しやつて
たの士」

(懐かしい、やつたつおに壁ね)

「綿ー、遊歩道で……廻りは練に囲まれてし……灯り
がおせいだか、途中から練の壁にならねや」

「やーー、真の壁バーハ」

幼馴染 32 「暁ニ丑したねー、」

幼馴染 33 「真の壁バーハにはオバケがいて、ついつかうしてねと
やるわれわや、みたじな説得だうさ」

幼馴染 34 「ハスハス、細は細かうたよねー、」

【「」かの子】

《◆右耳/10cm 「」かの子主人公を聴く》

幼馴染 35 「へあ、廻りにいるかせか、もつあぐ真の壁バーハ
だよ。大丈夫。細くねー。」

幼馴染 36 「せえね。細みたこりや、手つなごどあせよ
かあ。」

【「」かの子の細通の細通】

《◆右耳/10cm 「」かの子お好みの方向》

幼馴染 37 「やあ、かいかつてなよね、あ、せ、」足元氣を
付けて。細も細んだい誰がおんぶするのー」

「ん、お金腰転でお願いねー」

幼馴染 38

しばし暗闇を歩く。

幼馴染、若干怖がる。

幼馴染 39

「まあ……ふう……（一呼吸して）まあ……」

幼馴染、ちやつかり主人公にしがみつく。

【二】から小声】

◆右回り/0cm 前方を向いたまま、抱くよのこ

幼馴染 40

四

(懶かいを「」とかし「」語らいと「」)

外傳卷四

幼馴業

幼馴染 43

卷之十一

(三)公私興亡

アヤ黒人たひておもへと語歎して

公馬深

幻鷗集

卷之二

卷之三

幻馬染

幼馴染 5

幼馴染52 「大体雑草だつたりする土えりや、見えないとホワーミ
あるよな」

幼馴染53 「今も絶対歩きたくなじゅく」

幼馴染54 「足ヶガシヒトヒヨカヒタア……」

幼馴染55 「あははへ、ハハハハハ、『おんね？ ねふふわわ
ちやうへ』」

(主人公を睨む)

幼馴染56 「(吐息) ……共もす」いかひじる」

幼馴染57 「ん？ こゝよ別に。気にしない」

幼馴染58 「嫌だつたの親に・転用してわいわいじる」

しづら題。

(耳元で囁き。ほそいと)

幼馴染59 「うん。嫌じやなこよへ」

幼馴染60 「幼馴染、ひしぐない事を囁いてちよじぬずかしい。

(顔をそむけぬ)

幼馴染61 「ん……ふう……(しづら呼吸) ……」

幼馴染61 「ああ、えと……アタシも大丈夫かな。汗臭くな
いへ。」

「全然？」

幼馴染62 「ほんとう？」

幼馴染63 「全然はないでしょ」

「くすくす、ちょいとだけ？」

「ちょいとだけ匂つかやうがー。『おんねえ？ く
すくす』」

幼馴染66 「わよいとだけ匂つかやうがー。『おんねえ？ く
すくす』」

幼馴染 67

「あじやあ、鼻つまんでてあげよっか」

幼馴染、主人公の鼻をつまむ。

（主人公を見る）

幼馴染の

あ、あはは♪ 鼻声ー♪

幼馴染ノ

幼馴染 71

幼馴染 / 2

幼馴染

幼馴染 / 4

卷之三

二三

R=27

三三三

三

卷之三

「楽しかったよ？」
「今日。うん」

しばし歩く。

幼馴染83
「田端旗張りで囃ひな「一、二一、九十」へ、か
なあ」

幼馴染84
「中途半端かなあ。まあやつ囃われると、中途半端か
もね」

幼馴染85
「焼き鳥も、かき氷も……おうちやけで囃えさせ、中途
半端」

幼馴染86
「でも、お祭りだから、なんだか美味しいじゃん。」

（ゆつたりと、情景を思い浮かべて）

幼馴染87
「太鼓の音が響いて……花火がキレイにはじかれて……
花火の模様が……君の田に映つて……」

幼馴染88
「そんな田間で食べるものがいい、なんでも美味しい感
じがやうなあつて」

幼馴染89
「くすくす」

しばし聞。

幼馴染90
「んー……」

幼馴染91
「でも……よーく味わつてみると、やつぱり中途半
端」

幼馴染92
「……あと一歩なんだけどなあ」

→ゼロ→體。

幼馴染 93

「……（→ゼロ→体體のゼロ呼吸）……」

（ルーツ主人公を見ながら）

幼馴染 94

「……ねーべ」

幼馴染 95

「……ねえひじゼ」

（體）

幼馴染 96

「……母達半端な母達……體ねいも云う」

幼馴染 97

「……ヒヅカセヤヒト」

幼馴染 98

「ん……また汗かいヒヌ……」

ヒヒヒヒ濡れた耳を、ゆっくりヒヒキスする。

【ヒ】からは最後まで、主人公を見ながら體る】

《◆右耳/耳元》【ヒ】から體】

幼馴染 99

「ちゅ……んちゅ……」

幼馴染 100

「んふふ♪ アタシは何もヒトないよ~」

幼馴染 101

「もしかして、オバケの仕業じゃないかなあ。ん

かを」

幼馴染 102

「せひ、ヒヒオバケ出るヒヒヒヒヒヒヒヒ」

幼馴染 103

「んちゅ……ちゅぱ……わわわ~」

幼馴染 104

「ひらひら、積極的なオバケもいるもんですね~」

幼馴染 105

「わわう……ちゅぱ、れぬ……ちゅう、ちゅ」

幼馴染 106 「やあ、いつに髪をねられても、アタシにオバケは止められ
ないからな～」

幼馴染 107 「ふ、わわ～……わわいわわ、わわ～……わわ～、
わわ～……わわ～……わわいわわ……わわ～」

幼馴染 108 「あれ……左にオバケいな～。ねえ、左向こい～。」

《◆左耳/耳元へ動きながら※ねんぶん聴覚なので、
マイクの後ろを廻つて左右移動してくだせ～》

幼馴染 109 「（ | 呼吸）」

耳ふー。

幼馴染 110 「ふー～」

「主人公」のけれる。

《◆左耳/耳元》【いいかの聴覚】

幼馴染 111 「あせせ～、うるさいた～～、アタシの髪わ～、ふふ
ふ～～」

幼馴染 112 「ああ世の髪な～。髪せはこよにねー～。」

《◆左耳/耳元》【いいかの聴覚】

幼馴染 113 「んわ～……わわ～……わわ～」

幼馴染 114 「くわ～、もひじ片かじにな～。みつたの一～。」

幼馴染 115 「わわ～……わわ～、わわ～……わわ～」

幼馴染 116 「アタシが転べだ世も、」ぶくぶく片かじてた髪がす
る。おひかや髪してたよねー～」

幼馴染 117 「わわ～、アタシを髪こじゆいか走つたやつれー。
おねえ～」行つたの～。」

幼馴染 118 「ハハハ…」 離れた。(笑) グリウハ! 出撃して
「えやえや」

幼馴染 119 「ルツヤ片手に立たれやあ、おせせ~」

幼馴染 120 「えーかわ、正面撃沈しちゃうこじやね、わや、死
にゆかぬ…。れ~、かわ~、ルツナ撃つた~」
かわの「」

◆左耳/0cm 右耳】【111cm】

幼馴染 121 「彼女でもな~人立れ、ルツナもあ~。ツバ~」

「…~くな~、ルツナも素直なねえ。」

幼馴染 122 「…~くわ、おうがんば」

◆左耳/10cm 右耳】【111cm】

「(涙) ル~、ル~く……あ、戻り戻~れだ。真の體
ガ~ハや終わ~か~」

幼馴染 124 「おせせ~、話~した~お~いとこ~の體だ~だね~…
~」

幼馴染 125 「ん~……」

◆左耳/0cm 右耳】【111cm】

「えね~…~かわ~」

幼馴染 126 「ん~だか~」「れ~木バケの仕業だ~」

幼馴染 127 「お~、わ~いわ~…~れ~、わ~」

幼馴染 128 「お~、わ~いわ~…~れ~、わ~」

幼馴染 129 「真の體ガ~ハ話~た~、えね~、話~おや~か~だ。
わ~い、わ~い、わ~い。れ~、わ~い、わ~い、
わ~い」

立たぬ生れ。

風で草木が揺れる。

「……（ヒゼン古語）……」

「ふふ、立たぬ生れいぬやうだふ」

「イタズ「われれの、好れなんだ」」

「ん、わせふ、れふ、わせふ」

「今から聞ひ」ふせ、木べくの猿う鳴なんば土えや」

「わせ……わへと眞辭にれ、わせ、誇ひてもこころ

「やなこへ」

幼鷦鷯 136 「えぬせふ、わせ。お祭りとか、わいこい畠田せここ
かく」

幼鷦鷯 137 「じやなこへ、今ねえだしてのむ、また次かいの、
来年の夏へ」

幼鷦鷯 138 「嫌なえだか」

幼鷦鷯 139 「……（緊唇吸）……」

幼鷦鷯 140 「わいかよ」アタシ……誰かにやくわれ
わやくわれ」

◆右耳/0cm <動かながる> 【いじかる小瓶】

幼馴染 141

「（一呼吸）」

【むへぐらど、余裕體】

幼馴染 142

「なー」

幼馴染 143

「體」

幼馴染 144

「わやくと體のせこなー」

幼馴染 145

「ハス。スルスル」

幼馴染 146

「ハス」

幼馴染 147

「そつかへ んふふふ」

幼馴染 148

「ト堪りませう細田だなあ」

幼馴染 149

「こやだつて、やの體、ト堪の頃にも體のいてくれた

「じやく」

幼馴染 150

「あの歯は吸は流しかやつたけんね」

幼馴染 151

「こららへ もわんえ、覚えてるよ」

幼馴染 152

「和に體われて嬉しかった」と……九齧くらこ覚えて

る

幼馴染 153

「くわくわへ、母途半端へ、お互い様じやく」

幼馴染 154

「今體のてくれた事は、絶対忘れないから」

幼馴染 155

「ハス（體）こららへ ん、えくく」

幼馴染 156

「あーでも、オバケから一つだけ、文句があるみたい。
ちゅうじ」と「いわ向じて」

《◆両耳/10cm》【「」から離れる振幅】

幼馴染 157
「……君に誘われた盐から、「」のあさずの恋人感分
だつて。やつれと君曰く、「」の銀感へ」

花火のよつたキス。

《◆両耳/0cm》

幼馴染 158
「ん……ちゅ、ちゅ、「」ちゅ、ん、
ちゅ、ちゅ……♪」

幼馴染 159
「せぬ……ふ……」

《◆右耳/0cm <動せながむ>【「」から離れる振幅】

幼馴染 160
「く……、く、く」

幼馴染 161
「決めた」

幼馴染 162
「稼連れていたも」

幼馴染 163
「アタシへかじやなくて、君へか」

幼馴染 164
「そののが近いドショ~」

幼馴染 165
「親には「キュー」、友達へといはれ~一いつのくへ
くか~」

《◆右耳/耳元》【「」から離れる振幅】

幼馴染 166
「くわく 最初に誘ったのは君だよ~」

幼馴染 167
「アタシの「」、最後まで連れてってね~」